

☆学習目標

言葉による見方・考え方をはたらかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

| | | | |
|---------|---|-----|---|
| 使用教材 | 教科書(国語・書写) 漢字のワーク 白プリント 国語のワーク 国語ノート 文法ワーク (タブレット) | 持ち物 | 教科書・ノート・ファイル 漢字のワーク・国語のワーク 文法ワーク・ |
| 学習の進め方 | <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を正し、全体で挨拶する。 ②忘れ物チェック: 教科書・漢字のワーク・国語のワーク・ファイルなどを持ってきているか確認する。 ③漢字の練習、または漢字小テストを行う。 ④本時の目標: 今日の授業で行うことを説明する。 ⑤本読み: 範読(CDを使うこともある)や指名読みをしながら、漢字や語句の確認をする。 ⑥内容理解: 主題にそった発問をし、内容理解をすすめる。 ⑦板書: 内容の理解を確認しながら、黒板にまとめていく。 ⑧まとめ: 本時のまとめと振り返りを行う。 ⑨挨拶: 全体で挨拶する。 <p>※内容によって、班学習やグループ討議、発表をすることもある。 ※聞きとりテストや暗唱テスト、文法や漢字の小テストを行うこともある。 ※文法・書写を学習することもある。</p> | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に発言するように心がける。その際、挙手をし指名されてから発言すること。また、発言内容は、伝わりやすいよう、言葉を考えて発言する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・他の人が読んだり発表したりしている時は、静かに聴く態度をとる。 ・班学習やグループ討議などには積極的に参加し、学習する。 ・プリントやワークシートは全て記入し、聞きとったことはメモを取るよう心がける。 ・古文は声を出して何度も朗読する。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間中に授業の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・提出物は決められた期日までに必ず提出しましょう。 ・必ず黒板を写し、必要であれば先生の話をもメモしておきましょう。 ・ノートやプリントに書く際は、あとで授業内容を思い出せるように工夫しましょう。 ・しっかり先生の話聞いて、わからないことがあれば質問し、解決していけるようにしましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句の意味を自主的に調べましょう。 ・ノートやワーク類を見直し、その日の授業の復習をしておきましょう。 ・何度も音読をし、漢字もすらすら読めるようにしておきましょう。 ・日頃から本や新聞などを読み、言葉にふれる機会を増やしましょう。 ・毎日の「朝の読書」も、読書の習慣づけの絶好のチャンスです。積極的に取り組みましょう。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | |
|------|--|----|------------|
| 月 | 単元計画 | 書写 | 試験 |
| 4 | 未来へ 手紙の効用 短歌を楽しむ | | 中間 テスト |
| 5 | | | |
| 6 | 短歌のリズムで表現しよう 文法「動詞」 字のない葉書 ハトはなぜ首を振って歩くのか | | 期末 テスト |
| 7 | 郷土のよさを伝えよう 卒業ホームラン 敬語 文法「形容詞」 | | |
| 8 | 枕草子・徒然草 黄金の扇風機 落葉松 説得力のある提案をしよう 文法「助詞」 | | 復習 テスト |
| 9 | | | |
| 10 | 平家物語 鯉節ー世界に誇る伝統食 | | 中間 テスト |
| 11 | 漢詩 文法「助動詞」 | | 期末 テスト |
| 12 | サハラ砂漠の茶会 文法の復習 書写(行書) | 行書 | |
| 1 | 走れメロス 話し言葉と書き言葉 類義語・対義語 | | 復習 テスト |
| 2 | 「正しい」言葉は信じられるか 話し合いで解決しよう | | 学年末 テスト |
| 3 | 辞書に描かれたもの わたしが一番きれいだったとき | | |

| 評価にあたって | | |
|---------------|--|--|
| 評価観点 | | 評価の場面・方法 |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きが正しくできているか 文法事項についての知識、考え方を理解できているか 表現技法を理解できているか | <ul style="list-style-type: none"> 漢字や文法などの小テスト 定期テスト |
| | <ul style="list-style-type: none"> 進んで意見を発表し、他者の意見をよく聞いて、自分の意見にいかしているか 場面や目的に応じて、話したり、暗唱したりしているか 文章の主題をとらえ、自分の意見や感想を文章で表現できるか 自分の意見の根拠を明らかにしながら文章を書いているか 登場人物の心情やその変化を捉えているか 文脈に即して筆者の主張を捉えているか 表現技法、指示語、接続語などに注意し、内容 | <ul style="list-style-type: none"> 授業での発表など 班での話し合いの様子や発表 聞きとりテスト 授業中における作文など 言語表現 定期テスト |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加できているか 授業を聴いて、ノートをとっているか 提出物を出せているか 遅刻をせず、忘れ物もないか | <ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度(遅刻や忘れ物も含めて) ファイル、ワーク、宿題などの提出物 振り返りなど 文学作品の音読 |

* 変更になる場合もあります

☆学習目標

社会的現象の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成すること。

地理：世界の諸地域の地理的事象に関し理解するとともに様々な情報を調べまとめる技能、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断したりする力を身につけ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

歴史：わが国土や歴史、国際関係に関し理解するとともに、様々な情報を調べ、効果的にまとめる技能、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断したりする力を身につけ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 教科書 ノート(A4) 資料集 地図帳 ワーク | 持ち物 | 教科書 資料集 ワーク 地図帳 ノート(A4) 筆記用具 |
|---------|---|-----|---------------------------------|
| 学習の進め方 | ①挨拶：全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック ③前時の復習 ④本時の目標：資料集・資料を提示されたものをみて、本時の学習内容にふれる。 ⑤学習：教科書にそって学習を進める。 ⑥定着：ワークシート等に板書の記入などを行い、理解を深める。 ⑦まとめ：本時のまとめを行う。 ⑧挨拶：全体で挨拶をする。 ※班活動による学習を行うときもある。 | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・「見る・聞く・書く」作業をしっかり意識して学習する。 ・班活動に積極的に参加し、それぞれ主体的に学習できるように意識する。 ・図や映像などは教材の内容の意味をよく考え理解する。 ・授業規律をしっかり守り、忘れ物をせず、学習環境を整える。 ・ノートやワークシート等のプリントの記入を徹底する。 ・自分が気になることがあれば、メモを取る。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|--|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける環境を整えましょう(忘れ物をしないようにしましょう)。 ・提出物の期限を守りましょう。 ・板書はきちんと写しましょう。その上で、授業で説明されたことをメモするなどして、あとで見てもわかるようにしましょう。 ・授業中の教師の問いかけに対して、よく考えて積極的に発言しましょう。 ・わからないところは、授業中・休み時間・放課後に質問をして解決しておきましょう。 |
| 家庭 | <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の授業内容は、その日のうちに復習しましょう。 ・テストのために、ノートをまとめるなどして学習内容を整理しておきましょう。 ・単元ごとに出されるワークや課題プリントを自宅で期限内に必ず行い、学習内容を整理しておきましょう。 ・出来事や特徴を理解し、文章にして説明できるようにしておきましょう。 <p><地理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や工業・農業など、学習した内容を整理しましょう。 ・資料の読み取りかたを理解し、実際のデータを読み取る練習をしましょう。 <p><歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事の流れを整理し、それぞれの内容を覚えていきましょう。 ・写真・絵などの資料と出来事が関連付けられるように整理しておきましょう。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | |
|------|--|--------|--|--|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 |
| 4 | 【歴史】 第2章 中世の日本 第1節 武家政治の成立 第2節 武家政治の動き | | 知識・技能 世界の諸地域や我が国の歴史に関し理解するとともに、様々な情報を調べ、効果的にまとめる技能が身についている。 | ・定期テストの指定問題 ・小テスト ・授業中の課題等 ・提出すべき課題 など |
| 5 | 【地理】 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 | 中間テスト | | |
| 6 | 第2章 日本の地域的特色 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 | 期末テスト | | |
| 7 | 第2節 中国・四国地方 | | | |
| 8 | 第3節 近畿地方 | 復習テスト | | |
| 9 | 第4節 中部地方 第5節 関東地方 | | | |
| 10 | 第6節 東北地方 第7節 北海道地方 | 中間テスト | | |
| 11 | 【歴史】 第4章 近世の日本 第2節 江戸幕府の成立と対外政策 第3節 産業の発達と幕府政治の動き | 期末テスト | | |
| 12 | 第5章 開国と近代日本の歩み 第1節 欧米における近代化の進展 | | | |
| 1 | 第2節 欧米の進出と日本の開国 第3節 明治維新 | 復習テスト | | |
| 2 | 第4節 日清・日露戦争と近代産業 | 学年末テスト | | |
| 3 | 第6章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と日本 第2節 大正デモクラシーの時代 | | | |
| | | | 主体的に学習に取り組む態度 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。 | ・ファイル・ワーク・ノートなどの提出物 ・授業や活動の態度・成果 ・ワークシートなどのプリント ・長期休暇の課題 など |

☆学習目標

(1)文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。

(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 教科書・探究ノート・問題ワーク・プリント (タブレット) | 持ち物 | 教科書・探究ノート・ プリント・ファイル・(ワーク)・ (ワークの解答) |
|---------|---|-----|--|
| 学習の進め方 | ①挨拶: 服装を正し、全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイル、(ワーク)を持ってきているか確認する。 ③前回の復習: 教科書・ファイルを用意し、前回学習した内容を復習する。 ④本時のめあて確認: 本時の学習内容を確認する。 ⑤例題で練習: 教科書の例題を確認し、必要に応じて板書を写す。 ⑥演習問題: 例題を参考にしながら、演習問題をやる。時間に余裕がある生徒は、理解を深めるためにワークなどの演習問題をやる。 ⑦演習問題の解説: 演習問題の解説を聞いて理解を深める。 ⑧本時の授業の振り返り: 本時の授業での重要事項をまとめる。 ⑨挨拶: 服装を正し、全体で挨拶をする。 ※計算や前回の授業内容の復習などの小テストを行うこともある。 ※内容によって、グループ討議や発表をすることもある。 | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにする。 ・きちんとした服装・姿勢で授業を受ける。 ・説明を聞くときと、板書を写すときの区別をつける。 ・分からないことがあれば、手をあげて質問をする。 ・教科書の演習問題に取り組んで終わりではなく、時間に余裕があれば積極的にワークなどの問題をやる。 ・家庭で復習する習慣をつける。 ・提出物は必ず期日を守る。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|--|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中は先生の話聞き、しっかりと考える習慣をつけましょう。 ・板書を必ずプリントに写し、工夫をしながら自分で後から見てもわかりやすくしましょう。 ・忘れ物のないようにしましょう。 ・提出物は期日を守って、きちんと仕上げ提出しましょう。 ・わからないことがあれば質問することで解決し、自力で解けるようになるまで取り組みましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日学習したことの復習をしましょう。 ・間違い直しをしっかりとしましょう。 ・わからないからといって投げ出さずに、1つの問題にじっくりと時間をかけ考えることも必要です。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | | |
|--------|--|------------|-----------------------------------|---|--------------------|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | | 評価の場面・方法 |
| 4 5 | 第1章 式の計算 1. 式の計算 2. 文字式の利用 | 中間 テスト | 知識・ 技能 | 事象を数量や図形などで 数学的に表現し処理する 技能や知識を身につけて いる。 | テストの指定問題 |
| | 第2章 連立方程式 1. 連立方程式 2. 連立方程式の利用 | 期末 テスト | | | |
| 7 | 第3章 1次関数 1. 1次関数 2. 1次関数と方程式 3. 1次関数の利用 | 復習 テスト | 思考・ 判断・ 表現 | 事象を数学的にとらえて 論理的に考察し表現した り、その過程を振り返っ て考えを深めたりするな ど、数学的な見方や考え 方を身につけている。 | テストの指定問題 |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | 第4章 図形の性質と合同 1. 平行線と角 2. 三角形の合同 3. 証明 | 中間 テスト | 主体的 に学 習に 取り 組む 態度 | 数学的な事象に関心をも つとともに、数学的活動 の楽しさや数学のよさを 実感し、それらを活用し て考えたり判断したりし ようとする。 | 授業態度 提出物 忘れ物 |
| 11 | | 期末 テスト | | | |
| 12 | 第5章 三角形と四角形 1. 三角形 2. 四角形 | 復習 テスト | | | |
| 1 | | | | | |
| 2 | 第6章 データの活用 1. データの散らばり 2. データの傾向と調査 | 学年末 テスト | | | |
| 3 | | | | | |

☆学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 教科書 探究ノート プリント ファイル ワーク | 持ち物 | 教科書 探究ノート ファイル |
|---------|---|-----|----------------|
| 学習の進め方 | ①あいさつ：起立して授業の開始の挨拶を行う。 ②目標確認：本時の目標を確認する。 ③内容理解：教科書や実験器具などを使い今回の学習内容を理解する。 ④整理：教科書や板書をノートにまとめる。 ⑤まとめ：本時の理解を深めるために問題集やプリントを行う。 | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物に注意する。 ・積極的に質問に答えるようにする。 ・学習事項は、習った日にワーク・プリントで復習する。 ・実験を行うときはけがをしないように十分気を付ける。 ・提出物は必ず期日までに提出する。 ・家庭で復習する習慣をつける。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前の準備をしておきましょう。(忘れ物がないようにしましょう。) ・質問には積極的に答えていきましょう。わからないところはその日のうちに先生に聞きましょう。 ・図や表などで習ったことがイメージできるようにしましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日理科を勉強しましょう。(短くても良いので) ・その日の学習はその日のうちに復習し、自分の力にしましょう。 ・ワークをならったところをこつこつやりましょう。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | |
|------|--|-----------|--|---|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 |
| 4 | [物質] 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量 | 中間 テスト | 知識・ 技能 基本的な概念や原理・法 則などを理解していると もに、科学的に探究す るために必要な観察、実 験などに関する基本操作 や記録などの基本的な技 能を身につけている。 | 行動観察、発言、発表、 パフォーマンステスト、 ワークシート、小テスト・ 定期テストなど |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |
| 7 | [生命] 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動の仕組み | 復習 テスト | 思考・ 判断・ 表現 観察、実験などを行い、 その結果や資料を分析し て解釈し、特徴や規則性 を見いだして表現してい るとともに、探究の過程 をふり返るなど、科学的 に探究している。 | 発言、発表、レポート、 ワークシート、 小テスト・定期テストなど |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | [地球] 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のように 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季 | 中間 テスト | | |
| 11 | | | | |
| 12 | | | | |
| 1 | [エネルギー] 電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界 | 復習 テスト | 主体的 に学 習に 取り 組む 態度 事物・現象に進んで関わ り、見通しをもったりふり 返ったりするなど、科学 的に探究しようとしてい る。 | 行動観察、発言、発表、 自己評価、レポート、 ワーク、ワークシート、 ノートなど |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

☆学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 中学生の音楽2・3上 中学生の器楽 アルトリコーダー | 持ち物 | 教科書 ファイル アルトリコーダー 筆記用具 |
|---------|--|-----|---------------------------------|
| 学習の進め方 | ①挨拶：服装を整えてあいさつをする。 ②忘れ物チェック：教科書2冊、ファイル、アルトリコーダー、筆記用具の準備をしておく。 ③本時の目標：本時に何を学ぶか把握しておく。 ④リコーダー練習：本時の目標にむけて練習する。 ⑤歌唱練習：本時の目標にむけて練習をする。 ⑥挨拶：服装を整えてあいさつをする。 *実技テストやパート練習があるときは、待っている間に課題プリントをする。 | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにする。 ・提出物は決められた期日までに必ず提出する。 ・積極的に歌、リコーダーの練習に取り組む。 ・わからないことがあれば質問する。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・合唱では、互いのパートをよく聞き、歌詞の内容を味わい楽しく歌いましょう。 ・アルトリコーダーでは、1年生で学習したことをふまえて、それぞれの曲に合う音色で吹きましょう。 ・授業中に気づいた演奏に関しての注意事項やアドバイスを楽譜に書き込みましょう。 ・わからないことがあれば質問し、解決していけるようにしましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書と授業で使ったプリントで復習しましょう。 ・実技テスト前は、学習したことを思い出し各自で練習しましょう。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | |
|------|---|------------|---------------------------|--|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 |
| 4 | 歌声をみがこう アルトリコーダーの復習 | 実技 テスト | 知識・ 技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期テスト ・実技テスト(歌・リコーダー) |
| 5 | 心の歌 歌詞の内容や曲想をイメージしながら歌おう 曲の仕組みを理解して聴こう | | | |
| 6 | ↓ | | | |
| 7 | 合唱の喜び 合唱コンクールにむけて | 定期 テスト | 思考・ 判断・ 表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・鑑賞プリントの内容 |
| 8 | | | | |
| 9 | 合唱コンクール曲(課題曲・自由曲) | | | |
| 10 | ↓ | 実技 テスト | 主体的 に学習 に取り組 む態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、提出物、忘れ物 ・課題プリント |
| 11 | 曲想を生かして表情豊かに歌おう 音楽の特徴を文化・歴史・他の芸術と関連づけて聴こう 歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう | | | |
| 12 | 音の重なりの変化を楽しもう リコーダー奏 | | | |
| 1 | 心の歌 日本の伝統音楽の魅力にふれよう オペラを知ろう | 実技 テスト | | |
| 2 | 2年間のまとめ 合唱の喜びⅡ リコーダー奏 | | | |
| 3 | ↓ | | | |
| | | 学年末 テスト | | |

☆学習目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
- ・意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表している。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

☆学習を進めるにあたって

| | | | |
|---------|---|-----|-------------------------------|
| 使用教材 | 教科書、美術資料、クロッキー帳、ワークシート | 持ち物 | 教科書、美術資料、クロッキー帳、絵の具(必要な場合)、鉛筆 |
| 学習の進め方 | ①あいさつ ②本日の授業の目標、活動内容の確認 ③活動:描画活動、造形活動、鑑賞活動 ④本日の活動の振り返りと次回の授業の連絡をする ⑤あいさつ | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・提出物(作品やプリント)は必ず期日までに完成させて提出する。 ・忘れ物をしないようにする。 ・用具を大切に扱い、後片付けも必ず行う。 ・分からないことがあれば手をあげて質問する。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・美術は授業時数が少ないために、取り組める課題数に限りがあります。そのため、作品のひとつひとつ、プリントの一枚一枚が評価に対し大きな影響を及ぼします。提出が要されるものについては必ず提出しましょう。 ・制作を円滑に進めるために、必要な用具や資料をあらかじめ準備して持ってきてよう。 ・美術の苦手意識があっても一生懸命制作に取り組もう。上手い下手は評価の全てではありません。作品への手数、作業量が実は重要です。 ・思ったように表現できなかったりアイデアが浮かばない時は教科書や資料集を見たり、質問したりしましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの学習では、作品や作者の名前、技法などの語句を覚えよう。その際は教科書や美術資料に載っている画像にも目を通しましょう。 ・実技作品の完成が提出期限に間に合いそうにない場合、持ち帰るなどして制作を進めること。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | |
|------|---|----------|--|---|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 |
| 4 | | | | |
| 5 | ●実技「鳥獣人物戯画」[絵画] 物語を考えて、墨を用いて絵巻物をつくる ⇒作品を提出する | 定期 考査 | 観 点 Ⅰ 知 識 ・ 技 能 | ●定期テスト「観点Ⅰ」の鑑賞問題 ●材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じて工夫することができる |
| 6 | ●鑑賞「日本美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する | | | |
| 7 | | | | |
| 8 | | | | |
| 9 | | 定期 考査 | 観 点 Ⅱ 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 | ●定期テストの「観点Ⅱ」の実技問題～完成度、発想 ●制作に向けて、自主的に参 考になるような資料を準備する ●制作を円滑に進められるよ う、事前に構想を練っている ●鑑賞プリントの空欄に入る語 を埋め、記述することができる |
| 10 | ●実技「連合スポーツ大会のタオルデザイン」[デザイン] ⇒デザイン用紙を提出する ●実技「ポスター」[デザイン] テーマに沿って人に伝えるためのデザインを考える ⇒作品を提出する | | | |
| 11 | ●鑑賞「日本美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する | | | |
| 12 | | | | |
| 1 | ●実技「ポストカードイラスト」[デザイン] テーマにそって葉書に絵を描く ⇒葉書を提出する | 定期 考査 | 観 点 Ⅲ 主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度 | ●授業に遅刻をしない ●忘れ物をしない ●道具を適切に用いている ●貸し出された道具をきちんと返却する ●自分の机の周りを汚さず片付けている ●長期休業間の宿題～完成度、発想 |
| 2 | ●実技「はんこ」[工芸] 消しゴムはんこで連続模様をつくる ⇒作品を提出する ●鑑賞「日本～西洋美術」[鑑賞] プリント、ビデオを用い学習する ⇒プリントを提出する | | | |
| 3 | | | | |

●遅刻や忘れ物、道具の扱い方については随時観察する
●長期休業間の宿題の提出

☆学習目標

(領域C) 生物育成に関する技術

○生物育成に関心を持ち、生物育成と生活や環境の関係について考え、育成生物の生育条件と生物育成技術とのつながりを理解する。育成生物を計画的に育てる活動を通して、生物育成を工夫し想像する能力と実践的な態度を育てるとともに、育成技術を適切に評価し将来に向けて選択する能力をつける。

(領域B) エネルギー変換に関する技術

○エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるとともに、エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解してそれらを適切に評価し活用する能力をつける。

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 教科書 | 持ち物 | 教科書・ノート |
|---------|---|-----|---------|
| 学習の進め方 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を見る。(学習内容の確認する。) ・授業ノートにまとめる。(板書を写す、メモを取る。) ・実技(目的や手順に従って安全に実習を進める。) | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないか授業の始めに毎時間チェックをする。 ・実習等の実技の際は安全面に注意する。 ・定期的に授業ノートを提出する。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ワークノートの準備をしておきましょう。(授業に対する意欲・態度点に入ります。) ・黒板の板書は必ずノートに写しておきましょう。(テスト勉強に役立つ。) ・教科書の大切な個所には赤線を引いておきましょう。(テストによく出る。) ・提出物は必ず決められた日までに出しましょう。(提出点が悪くなります。) ・解らないところがあれば、必ず質問して解決しておきましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を家庭で思い出し、実践できるところはトライしてみる。 ・試験前は、ノートに書いたところを中心にプリントや教科書の内容をしっかりと勉強する。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | |
|------|--|------|---|--|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 |
| 4 | C 生物育成に関する技術 1. わたしたちの生活と生物育成 | 定期試験 | 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> 目的や条件に応じて、生物育成の手段を適切に選択し活用できている。 生物の適切な管理作業ができる。 機器の保守点検と事故防止ができる。 製作品の組立て・調整や点検ができる。 生物を取り巻く生育環境が生物に及ぼす影響や、生物の育成に適する条件及び育成環境を管理する方法を身につけている。 生物の計画的な管理方法についての知識を身につけている。 生物育成に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みについての知識を身につけている。 組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身につけている。 エネルギー変換に関する技術と、社会や環境とのかかわりについて理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> 実習中の作業の様子 授業中の取り組みの様子 定期試験 提出物(ノート・課題プリント) |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |
| 7 | | | | |
| 8 | B エネルギー変換に関する技術 1. わたしたちの生活とエネルギー変換 | 定期試験 | 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> 生物育成に関する技術にかかわる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。 目的や条件に応じて栽培又は飼育の計画を立てるとともに、育成する生物の観察を通して成長の変化をとらえ、適切に対応を工夫している。 よりよい社会を築くために生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 使用目的や使用条件に即してエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。 よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 エネルギー変換に関する技術にかかわる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 製作品(栽培を含む)の加工および製作過程 製作品の完成度 定期試験 提出物(ノート・課題プリント) |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |
| 11 | | | | |
| 12 | 5. 実習製作 | 定期試験 | 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会を築くために生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 エネルギー変換に関する技術について関心をもっている。 エネルギー変換に関する技術を適切に活用しようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組みの様子 教科書・ノート等の忘れ物 提出物(ノート・課題プリント) |
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | 6. エネルギー変換に関する技術とわたしたち | | | |

☆学習目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 教科書 | 持ち物 | 教科書、ファイル (実習で使用するものは事前連絡) |
|---------|---|-----|------------------------------|
| 学習の進め方 | <p>[教室での授業]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイルを確認する。 ③本時の目標: 教科書の内容を見て学習内容を確認する。 ④内容理解: 板書の内容や、気づいたことをプリントにまとめる。 ⑤まとめ: 本時の重要事項をまとめる。 ⑥プリント提出 ⑦挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 <p>[実習を行うとき]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 ②忘れ物チェック: 教科書、ファイルを確認する。 ③本時の目的や手順を確認する。 ④実習: 安全に気を付けて実習を行う。 ⑤後片付け ⑥挨拶: 服装を整えて全体で挨拶をする。 | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにする。 ・毎時間授業後にプリントを提出する。欠席をした場合も、プリントを見せてもらい、必ず提出する。 ・提出物は必ず期日を守って提出する。 ・実習等の実技の際は安全面に注意する。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・ノートは黒板に書いてあることだけでなく、自分の考えや、大切だと思うことをメモしておきましょう。 ・提出物は決められた日に必ず提出しましょう。 ・わからないことがあれば、積極的に質問しましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を家庭で思いだしたり、実践してみましょう。 ・テスト前は、プリントに書いたことを中心に、教科書の内容もしっかりと勉強しましょう。 (後回しにすると、時間が無くなるので早めにとりかかろう) |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | | |
|------|-------------------------|-----------|---|--|-----------------------------|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 | |
| 4 | 食生活を考えよう 栄養素の種類とはたらき | 定期 テスト | 知識・ 技能 | <ul style="list-style-type: none"> 生活の中で食事が果たす役割について理解している。 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。 地域の食文化について理解している。 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 | 提出物A(課題プリント) 作品 定期テスト |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | 食品に含まれる栄養素 | | 思考・ 判断・ 表現 | <ul style="list-style-type: none"> 食生活について課題を見つけ、健康によい食習慣などについて考え、工夫している。 1日分の献立について、栄養量などを考え工夫している。 調理に必要な手順や時間を考えて計画したり、食品の特性を生かした調理を工夫している。 | 提出物B(課題プリント) 作品 定期テスト |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | 1日分の献立作成 食品の選択と購入 | 定期 テスト | 主体的 に学 習に 取 り 組 む 態 度 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理できる。 調理の目的や食材に合った基本的な調理操作できる。 安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理できる。 | 提出物C(課題プリント) 作品 定期テスト |
| 11 | | | | | |
| 12 | | | | | |
| 1 | 調理の基礎 つくってみよう | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 2 | 地域の食材を見つめよう | 定期 テスト | | | |
| 3 | | | | | |
| 3 | 食生活と環境 | | | | |
| | | | | | |

☆学習目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

- ①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- ②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。
- ④個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 保健の教科書 保健ノート 実技本 | 持ち物 | 保健：教科書、保健ノート、 実技本 体育：体操服、帽子、 体育館シューズ |
|---------|--|-----|---|
| 学習の進め方 | <ol style="list-style-type: none"> ①挨拶：活動場所に集合し、服装を正し、整列・挨拶をする。 ②出欠の確認：出欠・見学者・遅刻者・忘れ物等を確認する。 ③本時の授業内容説明：前回の授業をふり返り、本時の目当てを確認する。 ④準備運動：ランニング、ラジオ体操、補強運動を行う。 ⑤展開：種目に取り組む。 ⑥本時のふりかえり：集合、整列し、本時の授業をふり返る。 ⑦挨拶：次回の授業連絡をし、服装を正し、挨拶をする。 | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意する。 ・仲間と協力して学習をすすめる。 ・何事もチャレンジする。 ・その運動の歴史や特性に触れる。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|---|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、忘れ物、授業態度などに気をつけましょう。 ・実技テストに向けて日々の授業の練習を大切にしましょう。 ・定期テストでは、保健の授業で学んだことを復習しましょう。 ・授業中の自己評価カードなどにポイントなどを記入しましょう。 ・球技などの試合の時は、チームでどのように課題を解決するか相談しましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の前日に必要なものを準備し、忘れ物がないようにしましょう。 ・授業で学習した内容の復習をしましょう。 ・ランニング、ストレッチ、腹筋、腕立て伏せなどの筋力トレーニングを行いましょう。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | | 評価にあたって | | | |
|--------|----------------------------------|------------------------|-------------------------------|---|--|--|---|
| 月 | 単元計画 | | | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 | |
| | 男子 | 女子 | 保健(男女) | | | | |
| 4 5 | 集団行動 体づくり運動 ハードル走 走り高跳び | 集団行動 体づくり運動 短距離走 | ・体育に 関する知識 | スポーツテスト 実技テスト 定期テスト | 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 正しいフォームで行うことができる。 正確な動作である。 速く走る、遠くへ跳ぶ等ができる。 筆記テスト ルールや使用する道具の名称をきっちり言える。 安全に留意して運動を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> チェック項目を設けての実技テスト。 個人設定目標を達成することができる。 筆記テストの点数 日々の授業や、ワークシートを用いる。 指示に従ってきっちりと動く。 |
| 6 7 | バスケット ボール 水泳 | ハードル走 水泳 | ・保健 (健康な生活と 病気の予防 ②) | | | | |
| 8 | | | | 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 出席点 忘れ物 遅刻 声を出す ラジオ体操 保健ノート プリント | <ul style="list-style-type: none"> 出欠確認時 日々の授業 | |
| 9 | 剣道 | 走り幅跳び | | | | | 実技テスト 定期テスト |
| 10 | ハンドボール | 剣道 | | <ul style="list-style-type: none"> 体育に 関する知識 | | | |
| 11 | 長距離走 | 長距離走 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 保健 (傷害の防止) |
| 12 | | ダンス | | 実技テスト 定期テスト | | | |
| 1 | サッカー | ハンドボール | | | | | |
| 2 | ダンス | ソフトボール | | | | | |
| 3 | ソフトボール | サッカー | | | | | |

☆学習目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

- (1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
- (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- (4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

☆学習を進めるにあたって

| 使用教材 | 教科書、ノート、ワーク、ファイル | 持ち物 | 教科書、ノート、ワーク、ファイル |
|---------|---|-----|------------------|
| 学習の進め方 | <ul style="list-style-type: none"> ①挨拶：英語であいさつする。 ②忘れ物チェック：忘れものがあれば、チェックすることもある。 ③アイスブレイキング等：英語でいくつか質問をして、それに対して答える。など ④本時のめあて：本時に何を学ぶか最初に把握しておく。 ⑤文法説明：文法を学ぶことで、基礎を築く。 ⑥練習や活動：習ったことを文法を使い、アクティビティや練習問題をやる。 ⑦新出単語の練習：繰り返し発音し、ノートに練習する。 ⑧文章の内容確認：重要表現や本文内容の状況把握等を確認しまとめる。 ⑨文章の練習：いろいろなリーディングパターンを使って読む練習をする。 ⑩本時の授業の振り返り：授業の内容を振り返る。 ⑪挨拶：英語であいさつする。 *単語小テストや暗唱テスト、スピーチなども行う。 | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・宿題をし、必要な持ち物を持ってくる。 ・一度もらったプリントはなくさない。 ・発音の練習は、何度も繰り返し行う。 ・文法事項は、習った日にワークで復習をして理解を深める。 ・授業で取り組んだプリントをはさんだファイル、教科書の単語や本文を写したノート、ワークは定期的に提出する。 | | |

☆学習方法についてのアドバイス

| | |
|----|--|
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしないようにしましょう。 ・授業をしっかり聞いて、大きな声で発音し、読みましょう。 ・授業でやることは授業中に覚える努力をしましょう。 ・ペア学習、班活動等の対話練習、活動練習は積極的かつ真面目に活動しましょう。 ・ノートは丁寧な文字で書きましょう。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の復習を計画的にしましょう。 ・単語を毎回の小テスト毎にしっかり覚えましょう。また、計画的に復習も行いましょう。 ・テレビやラジオの英語番組を見ましょう。また、英語の本を積極的に読みましょう。 ・得意な人はどんどん長文を読み、わからないところを学校で質問しましょう。 ・授業で習った単元に当たるワークの範囲はその日のうちに取り組むようにしましょう。 |

学習内容及び評価について(通年)

| 学習計画 | | | 評価にあたって | |
|------|--|--------|---|--|
| 月 | 単元計画 | 試験 | 評価観点 | 評価の場面・方法 |
| 4 | Unit1 Haijin's Diary | | 知識・技能 ・各単元の文法事項と使い方を理解できるか ・難しい文法事項などを正しく理解しているか | ・定期テスト時での該当問題 ・単語テスト |
| 5 | Active Grammar1 Unit2 Basketball Tournament | 中間テスト | | |
| 6 | Active Grammar2 Daily Life1 電話 Unit3 Plans for the Summer Active Grammar3 | 期末テスト | | |
| 7 | Daily Life2 アナウンス Let's Read1 Sukh's White Horse World Tour1 いろいろな単位 You Can Do it!1 | | 思考・判断・表現 ・既習の文法を入れて自分の考えを表現できるか ・各単元の文法事項と使い方を正しく理解できるか ・表などを読み取り、質問に対して適切に答えることができるか ・まとまった英文(長文)を読んで内容を理解できるか ・英語の説明(リスニング)や授業時のリスニング問題を理解できるか ・異文化や概念を積極的に取り入れ、自分の考えを述べることができるか ・英語で話したり、書いたりして自分の意見を述べることができるか | ・定期テストでの該当問題 ・リスニングテストとパフォーマンステスト(暗唱・スピーキング) ・英作文を活かした作品づくり |
| 8 | | 復習テスト | | |
| 9 | Daily Life3 レストラン Unit4 Tour in New York City Daily Life4 道案内 | | | |
| 10 | Active Grammar4 Unit5 Earthquake Drill Daily Life5 イベントのお知らせ Daily Life6 体調不良 | 中間テスト | 主体的に学習に取り組む態度 ・授業に参加出来ているか ・しっかり授業を聴いてノートをとっているか ・文型練習のとき、正しく発音しているか | ・単元ごとのノート、定期テストごとのファイル・ワークの提出で評価 ・長期休暇での宿題の提出物で評価 ・授業中の態度(持ち物・発表含む)で評価 |
| 11 | Active Grammar5 Unit6 Work Experience Active Grammar6 Active Grammar7 | 期末テスト | | |
| 12 | Let's Read2 Meet Hanyu Yuzuru World Tour2 世界を舞台に働く人 You Can Do It!2 | | | |
| 1 | Unit7 Amazing Australia | 復習テスト | 主体的に学習に取り組む態度 ・授業に参加出来ているか ・しっかり授業を聴いてノートをとっているか ・文型練習のとき、正しく発音しているか | ・単元ごとのノート、定期テストごとのファイル・ワークの提出で評価 ・長期休暇での宿題の提出物で評価 ・授業中の態度(持ち物・発表含む)で評価 |
| 2 | Daily Life7 観光案内 Active Grammar8 Unit8 Staging a Musical Active Grammar9 | 学年末テスト | | |
| 3 | Daily Life8 音声ガイド Let's Read3 Emojis-From Japan to the World World Tour3 世界遺産めぐり You Can Do It!3 Let's Read More1 The Statue of Liberty Let's Read More2 Aboriginal Art | | | |